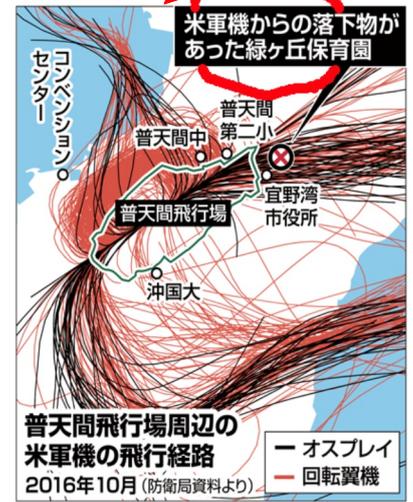


米軍住宅の上は飛ばないのに・・・

ヘリコプターはどこからでも普天間基地に進入できる筈だが、図で赤い線で囲った所は通らない。広大な米軍住宅地だ。米国の法律で上空は飛行禁止だから。しかし、日本人の家や学校はお構いなし。米軍は「ドアを落としたのは人為的なミス」と飛行を再開。ミスがあっても事故にしない為には「小学校や住民の上空を飛ばない」と約束すべきなのに。

それは「下に、学校、住宅等があって日本人がいても、ミスがあれば何でも落とすよ」と

太い赤い線で囲った所が米軍住宅地
米軍機が飛ばない所



普天間飛行場周辺の米軍機の飛行経路
2016年10月 (防衛局資料より)

右の図を見て下さい。云う事。

米軍住宅地や基地のある所は原野だった訳ではない。米国も加盟しているハーグ陸戦条約に反して住民の家、田畑、学校などを米軍が奪ったのだ。土地を奪われた住民は基地の周りでしか暮らせない。学校も基地の隣に作らざる得なかったのだ。

一方、政府は来年度予算で沖縄への一括交付金を一七〇億も削減。辺野古の基地に反対するなど、沖縄県民の顔を札束でひっぱりたいのだ。

皆さんはどう思われますか？



ここは大島、向かいは串本

ひがしむろぐん
和歌山県東牟婁郡串本町大島の金山展望台近くから

2017年11月

夏になると「台風〇号は『しおのみさき』南東〇〇キロ」と云う放送を良く聞いた。本州最南端の潮岬は左の山地の奥にある。

その山地は島だった。島と右の紀伊半島の山裾との間は僅か1km。沿岸の潮の流れで運ばれた土砂により島と紀伊半島の間に砂州ができた。そこが串本町になったそう。

紀伊大島が太平洋の荒波を防ぐので、串本との間は波静かな内湾。沢山の生け簀が浮かべられている。

本州最南端の潮岬は好漁場に近い。しかし、今年は黒潮が蛇行して岬から離れ、漁は思わしくないそうだ。

この紀伊大島は「くしもと大橋」で本州と行き来が出来る。おりしも、橋をくぐって漁船が串本港に帰って来ている。

